

# 2014 業務案内



Kagoshima  
Construction  
Technology  
Center



公益財団法人 鹿児島県建設技術センター

## ごあいさつ

公益財団法人鹿児島県建設技術センター  
理事長 前田 静俊

当センターは、県内地方公共団体の建設行政の円滑かつ能率的な執行を支援するため、県が出捐して設立したものであり、これまで、建設に関する技術研修、広報、建設材料の品質試験、公共工事の積算・施工管理の受託並びに大規模災害時における人的・技術的支援など、発注者支援機関としての役割を果たしてまいりました。

平成24年4月からは、発注者支援機関として、これまで以上に社会資本の品質の確保と県民の福祉の増進に寄与できるよう、『公益財団法人鹿児島県建設技術センター』として、新たなスタートを切ったところです。

近年の建設行政を取り巻く環境は、「公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律」及び「公共工事の品質確保の促進に関する法律」が施行され、発注者の責務はこれまで以上に大きくなるとともに、大量に更新時期を迎える公共土木施設の維持管理・長寿命化など、新たな課題への対応も求められております。

このような状況を踏まえ、当センターにおいては、建設行政に係る、『公共工事の発注関係事務支援事業』、『公共土木施設の管理者支援事業』、『社会資本の整備を担う人材育成等支援事業』、『建設行政に係る研究・地域活動支援事業』の4つの事業を柱に、発注者である県や市町村の支援機関として、更なる業務の充実を図るよう努めてまいります。

また平成26年度からは、橋梁をはじめとする各種インフラ長寿命化計画に対応して、県及び市町村に対する新たな管理者支援事業等に取り組むこととしております。

今後とも技術の向上に努め、公益法人移行後の諸々の情勢変化にも的確に対応できるよう体制を整えてまいり所存でありますので、皆様方の御協力と御支援を賜りますとともに、引き続き当センターを御活用いただきますようよろしくお願いいたします。

### 表紙の紹介

第2回かごしまの土木デザインフォトコンテスト  
最優秀賞：青天日和(撮影場所：霧島市)

『かごしまの土木デザインフォトコンテスト』は、当センターの広報事業の一環として、平成24年度から実施しています。

このコンテストは、「安心・安全な暮らし」や「豊かで快適な生活」を支えている県内の土木施設と自然豊かな風景と一緒に撮影してもらい、『かごしまの土木デザイン』としての魅力を引き出してもらうことを目的に実施しています。



建設技術センターの  
4つの事業

1

### 公共工事の発注関係 事務支援事業

	積算等事業	5
	施工体制点検等事業	5
	施工管理事業	7
	電子化普及事業	8
	材料試験事業	8

2

### 公共土木施設の 管理者支援事業

	公共土木施設台帳整備事業	9
	災害等緊急時支援事業	12

3

### 社会資本の整備を担う 人材育成等支援事業

	研修事業	13
	広報事業	14
	図書出版等情報提供事業	16
	土木資料室整備事業	17

4

### 建設行政に係る研究・ 地域活動支援事業

	地域づくり助成事業	18
--	-----------	----

## 目的

すべての鹿児島県民が生涯を通じて安心して暮らすことができ、自らの人生やふるさとに夢と誇りを持てる、優しく温もりのある地域社会を目指し、社会資本の整備及び維持管理並びにそれらを担う人材の育成等の様々な建設行政に係る支援を行うことなどにより、快適で活力ある生活空間の形成を担う社会資本の品質の確保を図り、もって、広く県民の福祉の増進に寄与することを目的とする。

## 概要

名称：公益財団法人鹿児島県建設技術センター  
設立年月日：平成24年4月1日  
財団法人鹿児島県建設技術センターを名称変更し移行設立

基本財産：鹿児島県出捐 3,000千円  
所在地：総務部・建設技術部  
〒890-0073 鹿児島市宇宿二丁目9番3号  
建設技術部企画研究課試験研究班  
〒890-0015 鹿児島市東開町1番地

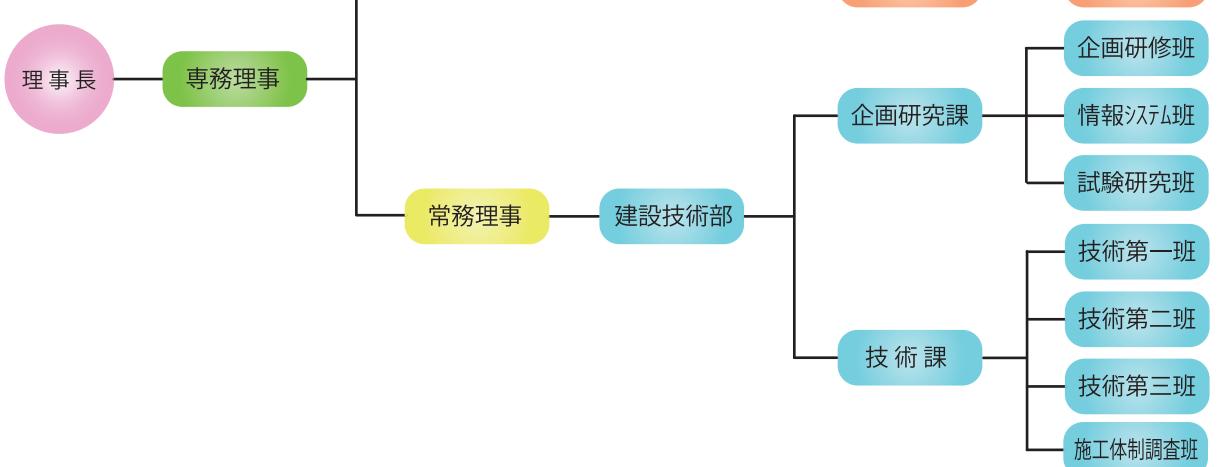
## 評議員

(平成26年4月1日現在)

川畑 俊彦  
(県建設業協会)  
久保 力  
(鹿児島県土木部次長)  
坂上 省悟  
(県町村会)  
萩元 美恵野  
(公認会計士)  
平田 登基男  
(鹿児島工業高等専門学校名誉教授)  
福田 光一  
(県測量設計業協会)  
山下 博美  
(株)鹿児島県頭脳センター専務取締役)

## 組織図

(平成26年4月1日現在)



## 役・職員数

(平成26年4月1日現在)

区分	職員		非常勤等	計
	事務	技術		
役員	理 事 長		1	1
	専 務 理 事	1		1
	常 務 理 事	1	1	2
総務部	部 長(兼1)			
	課 長	2		2
	主 幹	1		1
	主 査	1		1
	主 事	1		1
	補 助 員		4	4
建設技術部	部 長(兼1)			
	課 長	2		2
	技 術 補 佐	1		1
	技 術 主 幹	6		6
	班 長			
	技 術 専 門 員	3		3
	技 術 主 査	6		6
	技 師	8		8
	土木技術員等		18	18
計		7	28	22
				57

## あゆみ

- 昭和 50 年 7 月 鹿児島県の出捐金 300 万円により、財団法人鹿児島県建設技術センター設立
- 昭和 50 年 8 月 全国府県建設技術センター等連絡協議会へ入会
- 昭和 59 年 4 月 試験研究課設置  
建設工事材料試験業務を受託
- 平成 4 年 4 月 技術第三課新設
- 平成 4 年 10 月 施工管理業務受託開始
- 平成 5 年 8 月 豪雨災害の発生(鹿児島8・6水害等)
- 平成 5 年 8 月 災害復旧応援に職員を派遣
- 平成 5 年 10 月 他県建設技術センター等から災害復旧応援職員来鹿
- 平成 7 年 5 月 建設技術センター設立 20周年記念
- 平成 8 年 6 月 阪神・淡路大震災災害復旧応援  
(兵庫県建設技術センターへ職員 4 名を 3 ヶ月間派遣)
- 平成 12 年 4 月 技術第一課に技術情報係を設置
- 平成 15 年 4 月 新たに検査研究部を設置し、技術検査課(新設)と試験研究課に再編  
技術部を技術第一課と技術第二課に再編
- 平成 16 年 12 月 新潟県中越地震災害復旧応援
- 平成 17 年 4 月 鹿児島県道路公社、鹿児島県土地開発公社及び(財)鹿児島県建設技術センターの総務管理部門を統合し、総務部を総務課と経理課(新設)に再編、また、センターの技術部門と検査研究部を統合し建設技術部を設置し、技術課(新設)と検査研究課(新設)に再編
- 平成 17 年 11 月 建設技術センター設立 30周年記念
- 平成 18 年 4 月 検査研究課を企画研究課に名称変更
- 平成 22 年 4 月 企画研究課の企画情報係を企画研修係と情報システム係に再編
- 平成 23 年 8 月 東日本大震災災害復旧応援(財)ふくしま市町村建設支援機構に職員 2 名を各 2 ヶ月(計 4 ヶ月間)派遣
- 平成 23 年 9 月 新潟・福島豪雨災害復旧応援(財)新潟県建設技術センターに職員 1 名を 2 ヶ月半派遣
- 平成 24 年 4 月 公益財団法人鹿児島県建設技術センターへ名称変更し移行設立  
東日本大震災災害復旧応援(財)岩手県土木技術振興協会に職員 2 名を 3 ヶ月(計 6 ヶ月間)派遣
- 平成 25 年 1 月 東日本大震災災害復旧応援(財)岩手県土木技術振興協会に職員 1 名を 3 ヶ月派遣
- 平成 25 年 7 月 東日本大震災災害復旧応援(一財)ふくしま市町村建設支援機構に職員 2 名を 3 ヶ月(計 6 ヶ月間)派遣

## 有資格者

(平成26年4月3日現在)

資格種別	人数	備考
技術士(建設部門)	3	
技術士補(建設部門)	10	一次試験合格者等含む
1級土木施工管理技士	33	
1級造園施工管理技士	7	
1級管工事施工管理技士	5	
公共工事品質確保技術者(II種)	2	
コンクリート診断士	4	
コンクリート技士	4	
測量士	11	
CALS/EC エキスパート	1	
CALS/EC インストラクター	3	
地質調査技士	1	
水産工学技士(水産土木部門)	1	

## センター口

 Kagoshima Construction  
Technology Center の頭文字  
「KCTC」を表したデザイン

- 鹿児島県の豊かな自然(青)
- 「力みなぎる・かごしま」の構築への情熱(赤)をイメージして、未来をめざす当センターの姿を表現しています。



県及び市町村を対象に、「県土木積算システム」を使用し、公共工事発注用設計書の作成を支援しています。また、「県土木積算システム」用の歩掛データ等の改定業務についても、公正中立な立場で支援しています。

▶ 積算業務



[橋梁] 泊野3号橋  
鋼4径間連続非合成鋼桁+  
PC3径間連続ラーメン箱桁曲線橋



[橋梁] 妙見1号橋  
鋼単純鋼床版箱桁橋



[橋梁] (仮称) 西光寺7号橋  
PC4径間連続ラーメン箱桁橋



[トンネル] 平良トンネル  
NATM発破工法 L=1,674m



[砂防] 大峠川  
透過型えん堤



[河川] 二級河川米之津川  
六月田堰(SR合成起伏堰)



適正な元請・下請体制の下に、公共工事の品質を確保し目的物の整備が的確に行われるよう、県が定める「施工体制点検要領」に基づき、施工段階において工事現場における施工体制の把握・調査を行う施工体制点検調査や、低価格入札案件において工事が適正であるかを常時監視する施工重点監視調査等について、公正中立な立場で支援しています。

▶ 施工体制点検業務



下請負契約・主任技術者選任等の確認



掲示物(建設業の許可票等)の確認



施工体系等の確認



▶ 重点施工管理業務 (監視状況)



切羽



覆工



モニターによる監視

▶ 重点施工管理業務 (実績)



② 鹿島上甑線(平良トンネル)  
L=1674m  
(H21~H24)



・出水工区  
(L=2610m)  
(H20~施工中)



・さつま工区  
(L=2240m)  
(H21~H25)



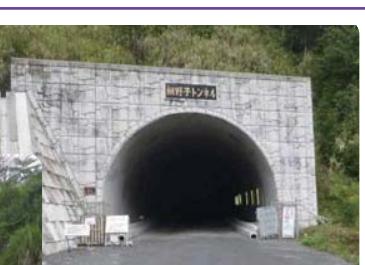
③ 北薩横断道路(北薩トンネル)  
L=4850m



① 南薩縦貫道(知覧トンネル)  
L=1135m  
(H25~施工中)



・役勝工区(L=2007m)  
(H22~H25)



・網野子工区(L=2236m)  
(H22~H25)

④ 国道58号(網野子トンネル)  
L=4243m

県及び市町村の公共工事における品質確保を目的に、施工管理業務（施工計画書と設計図書との照合、工事施工状況の確認、完成検査への立会等）のうち、大規模で複数年にわたり継続するものや、経験の浅い行政職員に対するOJTを兼ねたもの、積算（変更を含む）から施工管理まで一括して行うものについて、公正中立な立場で支援しています。

### 施工管理業務



### 技術支援業務（積算・施工管理等支援）

当センターでは、橋梁建設や災害等の経験が少ない市町村に対して、OJT研修を兼ねた技術支援を行っています。積算時や工事施工の各段階で、疑問点への回答や助言等を行い、事業が円滑に進むよう支援しています。



施工管理支援状況（市町村への支援）

県では、公共事業の一層の効率化を図るため、CALS/ECの導入と普及に取り組んでおり、当センターにおいても、公共工事に係る電子入札及び電子納品等について専門的な研修の実施や、「鹿児島県電子納品ガイドライン及び手引き」の改訂補助業務を行い、公共事業の電子化の普及を支援しています。



電子入札システム導入プレゼン状況（市町村）



電子納品研修状況（県、市町村）

建設工事材料試験業務は、昭和31年度から、社会資本整備に係る建設資材の品質確保を図るために県が直営で実施してきましたが、昭和59年度から技術センターが受託しています。

当センターの圧縮試験機は全自動デジタル型であり、JIS規格に合わせて載荷速度が設定されており、信頼性の高い試験結果が得られます。

また、JCSS（計量法校正事業者登録制度）登録機関による校正を受けており、国際的にも信頼性の高い機械となっています。

### 材料試験受託内容

#### ● 試験業務のフロー

- ・試験申請書の受付  
(申請者が申請項目を記入)

- ・試験の実施  
①圧縮・曲げ試験  
②碎石・碎砂・砂・石材

- ・成績証の発行

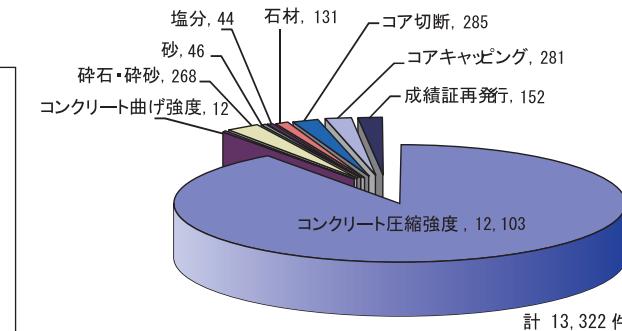
①については、申請当日に試験を実施し、成績証を試験後即時、交付する。

②については、試験申請受付から成績証交付迄7～10日間要する。

#### ● 試験の種類と参考規格

試験項目	参考規格
1) 密度・吸水率試験	JIS A 1109 & 1110
2) 単位容積質量試験	JIS A 1104
3) ふるい分け試験	JIS A 1102
4) 微粒分量試験	JIS A 1103
5) すりへり試験	JIS A 1121
6) 海砂の塩化物イオン試験	コンクリート標準示方書(JIS A 5308)
7) コンクリート圧縮強度試験	JIS A 1108
8) コンクリート曲げ強度試験	JIS A 1106
9) コアの切断・キャッピング	JIS A 1107, JIS A 1132
10) 試験成績証再交付	

### 材料試験件数（平成25年度）



### 材料試験状況



圧縮・曲げ強度試験

### 建設工事材料試験実地研修

県及び市町村職員を対象に、毎年、10月後半に実地研修を開催しています。



講習風景（アスファルト課程）



実地研修風景（CBR課程）

「アスファルト配合設計課程」と「土質とCBR課程」を隔年で実施。

平成26年度は、「土質とCBR課程」を実施予定。



県及び市町村を対象に、公共土木施設の効率的・効果的な維持管理や地域住民等からの問い合わせに迅速かつ的確に対応するための統合的なデータベースの整備・運用を目指し、公共土木施設台帳等の電子化を支援しています。

### △台帳システム

公共土木施設を管理するうえで必要な施設の情報や写真、図面、発注履歴、補修履歴などを一元管理するシステムです。



#### ● 基本情報の閲覧



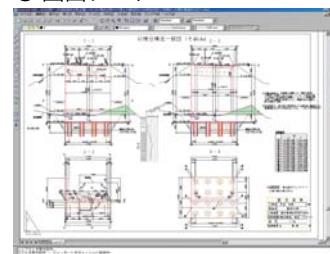
#### ● メインメニュー



#### ● 検索機能



#### ● 図面データ



- ✓ 詳細情報の閲覧とは別に、簡易情報の閲覧にも対応
- ✓ 各施設を路線ごとのツリー構造等で分類し、分かりやすい表示
- ✓ 写真や図面の拡大表示機能により細部の確認が可能
- ✓ 豊富な検索項目と複数項目による検索
- ✓ 台帳検索結果を印刷し調査等への活用
- ✓ 施設CADデータなど、他の図面に2次利用

### △橋梁点検支援システム

橋梁の点検結果を登録、閲覧するシステムです。

登録されたデータは、長寿命化修繕計画等に活用できます。

#### ● ログイン画面



#### ● 点検結果登録画面



#### ● 点検結果一覧



#### 2012年度 運用開始

- ✓ インターネットからのアクセスが可能
- ✓ 概略点検／詳細点検どちらの点検結果入力にも対応
- ✓ わかりやすい画面で、流れに沿って入力するだけで点検結果表を作成可能
- ✓ 複数枚の点検写真をWeb上で登録できるので、容易に状況の把握が可能

#### ● 点検写真一覧



#### 市町村の導入実績

- ✓ 西之表市
- ✓ 東串良町
- ✓ 宇椙村



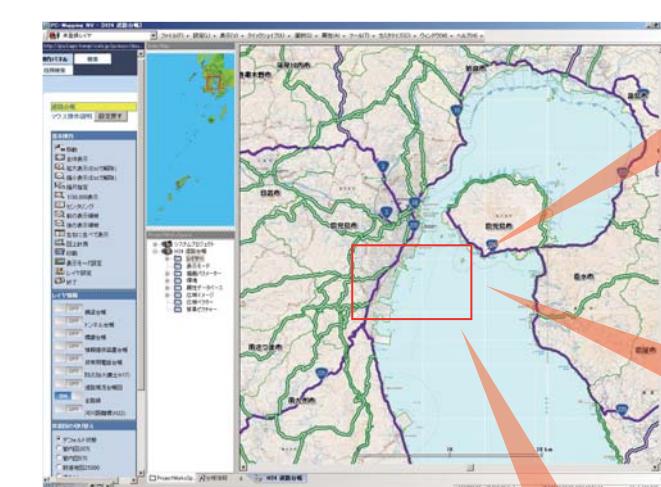
### △インフラ長寿命化支援業務

当センターでは、市町村に対して、インフラの点検・診断・修繕等に関する技術支援を行っています。  
詳細については、当センターまでご相談ください。

### △地理情報システム (WebGIS)

台帳システムに登録している各施設の位置を地図上に表示することで、地図上から施設情報の閲覧や検索機能による位置の特定ができるシステムです。

#### ● メイン画面



#### ● 標識情報



- ✓ 地図上のアイコンから施設情報を表示

#### ● 道路標識台帳



- ✓ 施設情報のアイコンから台帳を表示

#### ● 動画の表示



- ✓ 写真等による施設の概要以外に動画の表示も可能

#### ● 拡大画面



#### ● オルソ画像・道路現況台帳図の組合せ

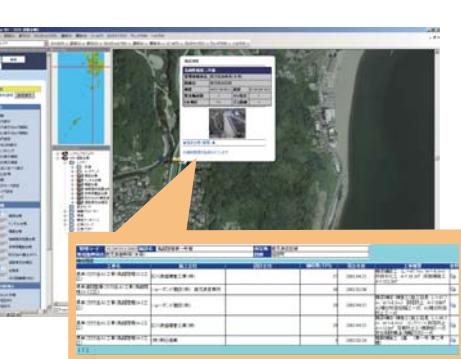


#### ● 検索機能



- ✓ 簡易検索により、閲覧したいマップへ即ジャンプ

#### ● 発注履歴確認・図面ダウンロード機能



- ✓ 発注履歴の確認・図面ダウンロードが可能

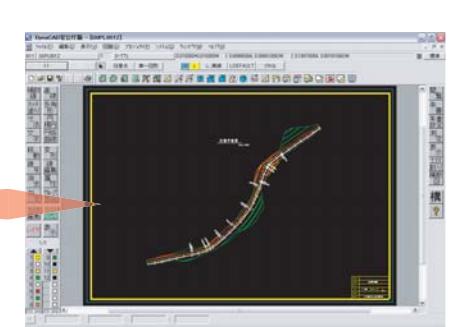
#### ● 施設点検結果の閲覧機能



#### ● 現況台帳図等の2次利用



- ✓ 地図を拡大すると道路現況台帳図を表示



- ✓ 登録している道路現況台帳図のデータを他の図面に利用できる



観光かごしまサイン整備

県では、九州新幹線全線開通を機に魅力ある観光地づくりを進めており、これを支援するために「観光かごしまサイン整備調査」を行い道路案内標識と連携した観光案内標識の提案を行っています。

● ルート設定



整備事例（観光案内標識）



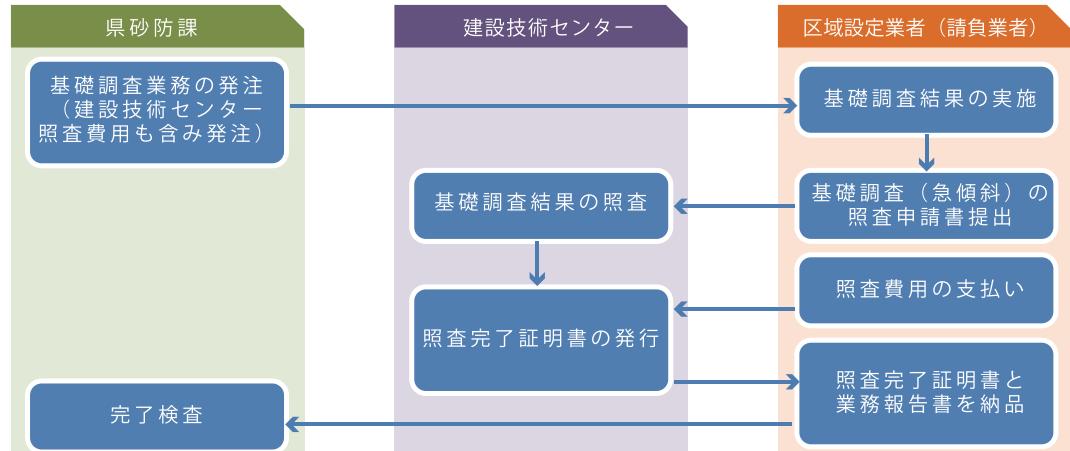
全景



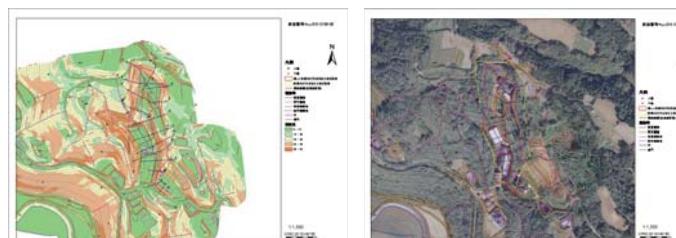
土砂災害警戒区域設定の照査

県が計画的に進めている土砂災害（特別）警戒区域の指定に関する基礎調査業務の照査を当センターで支援しています。

● 照査フロー



● 照査資料



● 照査状況



大規模災害等が発生した際に、国の災害査定に当たって、県や市町村の行政職員だけでは、人手不足等で対応が困難な場合の、復旧工法協議や査定設計書の作成、査定時の説明補助等における職員の派遣、また、県の支援要請を受けて災害調査等を実施したボランティア団体に経費の助成を行っています。

災害復旧支援（県内）

- 23 災第 612 号 橋梁災害復旧工事 千田袋橋（龍郷町）



● 主な支援実績

（災害査定設計書作成、災害査定臨場）

年 度	県市町村名	工 種
1 8	大崎町	橋 梁
1 9	南大隅町	橋 梁
2 2	曾於市	橋 梁
2 3	龍郷町	橋 梁

災害復旧支援（県外）

当センターは、技術力向上などを目的とし、全国各道府県における「全国建設技術センター等協議会」（全技協）に所属し、大規模な災害が発生した場合に、被災道府県のセンター等からの要請に基づき、職員を派遣し応援する協定を結んでいます。

当センターは、全技協会員として、東日本大震災と新潟・福島豪雨災害における災害復旧に、職員を派遣し、支援を行っています。



（公財）ふくしま市町村建設支援機構  
(東日本大震災復旧・復興への支援)



（財）新潟県建設技術センター  
長岡支所宮内分室  
(新潟・福島豪雨災害復旧への支援)

● 最近の派遣状況

年 度	派遣先	人 員
2 3	(公財) ふくしま市町村建設支援機構	2 名
	(財) 新潟県建設技術センター	1 名
2 4	(公財) 岩手県土木技術振興協会	3 名
2 5	(公財) ふくしま市町村建設支援機構	2 名

※平成 26 年度についても、引き続き職員を派遣し、災害復旧・復興への支援を行います。

災害調査等助成

当センターは、平成 22 年度に発生した「奄美豪雨災害」において、NPO 法人かごしま河川ボランティア協会による「奄美豪雨災害に係る被災調査」に対して経費の助成を行っています。



『NPO 法人かごしま河川ボランティア協会』による河川氾濫調査実施状況



地方公共団体職員及び建設業界関係者を対象に、質の高い社会資本の整備を担う人材を育成するために、県土木部及び市町村社会基盤整備推進協議会と共に研修、発表会、講習会等を実施しています。研修は、CPD（継続教育）制度のプログラム認定を受けた研修や一般県民にも開放したものなど幅広く実施しています。

### ► 研修実施予定（平成26年度）

①～⑤はセンター主催の研修、⑥～⑭は県等との共催研修

番号	研修名	研修内容	場所 時 期	対象者
①	建設技術研修会	建設行政に係る新たな課題等について 外部講師による講演等	自治会館 5月30日	県、市町村
②	出前研修会	現場管理等における技術力向上を目的とした研修	県内市町村 年間（6回）	市町村
③	新技術・新工法に関する技術講習会	新技術・新工法の紹介等	奄美建設会館、自治会館 7月3日、7月18日	県、市町村、民間
④	災害復旧実務研修	災害実務研修（調査・測量・計画・査定の実地研修）	徳之島事務所管内 6月	県、市町村
⑤	建設技術発表会	若手職員の技術力及びプレゼンテーション力向上	自治会館 10月31日	県、市町村、民間
⑥	土砂災害防止の集い2014	これからの防災についての啓発活動	自治会館 4月23日	県、市町村、民間、県民
⑦	土木施設灾害対策研修	災害実務研修（計画・査定等の演習）	青少年会館 5月15日～16日	県、市町村
⑧	電子入札研修	電子入札システムの操作研修	技術センター 5月～6月（6回）	県、市町村
⑨	現場研修会	現場体験による技術力の向上	南薩 7月上旬	県、市町村
⑩	土木部技術職員研修	専門別研修	自治研修センター 5回	県、市町村
⑪	道路防災に関する技術講習会	道路防災意識の向上、技術力向上等を目的とした講習	自治会館 8月28日	県、市町村、民間
⑫	橋梁概略点検現場研修会	橋梁点検に関する講習と実施	県内 10月～11月	県、市町村
⑬	全建クラブを活用した現場力研修	現場管理等の実務研修	振興局及び支庁 未定	県、市町村
⑭	建設部管内現場研修会	現場研修による資質の向上等	大島支庁 10月	県、市町村

### ► 出前研修

当センターでは、市町村技術職員の技術力向上を目的に、市町村等からの要請により当センター講師を派遣し、出前研修を実施しています。

#### ●研修実績（平成25年度）

市町村等名	研修内容
指宿市建設技術協会	施工管理の留意点について
薩摩川内市役所	施工管理の留意点について 施工体制調査における留意点について
曾於地区建設技術者連絡協議会	積算の留意点について
出水市役所	積算の留意点について 施工体制、施工管理の留意点について



[ 薩摩川内市役所 ]  
[ 曽於地区建設技術者連絡協議会 ]



県においては、県民とのパートナーシップによる地域づくりを推進するため、地域の方々や将来を担う子供たちへ自分たちの地域がどのように変わるのかなど、公共事業をもっと理解してもらう広報活動を行っています。

当センターにおいては、これらの活動を支援するため、各種パンフレットや啓発ポスターの作成などを行っております。また、当センターの自主企画として「夏休み親子現場見学会」や「かごしまの土木デザインフォトコンテスト」を実施しております。

### ► 夏休み親子現場見学会

社会基盤整備の取組について、将来を担う子供たちをはじめ、広く県民に知って頂くために、国や県が施工している工事現場を見学してもらい、公共事業への親しみと理解を深めてもらうとともに、今後の地域づくりについて関心を持ってもらうことを目的に実施しています。

#### ●実施内容

平成25年度は、県で現在整備中の一般国道223号の「丸尾の滝橋」の工事現場を見学しました。また、県立霧島高等学校の協力のもと、木造建築の駅舎で有名な「嘉例川駅」の歴史等についても学習しました。

#### ●見学会実施状況



### ► かごしまの土木デザインフォトコンテスト

県民の「安心・安全な暮らし」や「豊かで快適な生活」を支えている道路、河川、港、ダム等の「土木施設」について、自然豊かで美しい風景に調和した『かごしまの土木デザイン』としての新たな魅力を、カメラを通して引き出していくことを目的に実施しております。

#### ●第2回かごしまの土木デザインフォトコンテスト [ 応募総数：115作品(49名) ]

##### 《審査会》



##### 《表彰式》



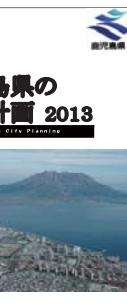
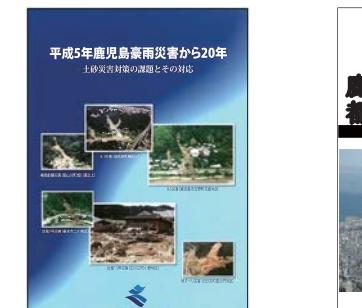
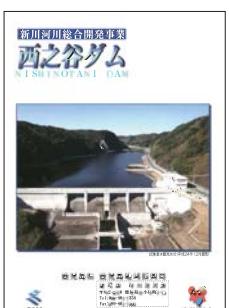
##### 《作品展示：土木フェスタ》



広報実施予定（平成26年度）

番号	広報の名称	広報内容	広報対象
①	夏休み親子現場見学会	建設事業現場見学会等の開催	県民
②	第3回かごしまの土木デザインフォトコンテスト	地域における公共事業の写真を募集	県民
③	鹿児島県の都市計画2014	概要書作成	県内の行政機関
④	鹿児島県都市計画総合管内図	管内図兼用広報パンフレット作成	県内外の行政機関
⑤	かごしまの河川・海岸2014	管内図兼用広報パンフレット作成	県内外の行政機関
⑥	河川・海岸愛護運動	・ポスター及びリーフレット作成 ・作業用軍手配布	県内の行政・教育機関
⑦	奄美大島 自然と調和した川づくり	事業概要パンフレット作成	県民
⑧	土砂災害防止月間推進事業	・PR用チラシ及びPR用品作成 ・絵画、作文募集に係る参加賞	県民
⑨	鹿児島県の道路2014	管内図兼用広報パンフレット作成	県内外の行政機関
⑩	本県地域づくり事業の現地見学会支援事業	地域の方々を対象に現地見学会等の支援	県民
⑪	電子入札システムの利用案内	電子入札システム概要パンフレット作成	県内の行政機関
⑫	道路改築事業（広瀬道路）	事業概要パンフレット作成	県民
⑬	道路改築事業（国道504号西光寺工区）	事業概要パンフレット作成	県民
⑭	道路改築事業（伊集院蒲生溝辺線）	事業概要パンフレット作成	県民
⑮	鹿児島県の港湾・空港	管内図兼用広報パンフレット作成	県内外の行政機関
⑯	道路ボランティア活動の普及・啓発	・「ふるさと通信」及び「ふるさと普及啓発用ポスター」作成 ・「ふるさとPR用のぼり旗」	県内の行政機関
⑰	甲突川リバーフロント整備事業	パンフレット作成	県民
⑱	国道58号 網野子バイパス	事業概要パンフレット作成	県民
⑲	火山砂防事業（霧島川）	事業概要パンフレット作成	県民
⑳	砂防読本作成	読本作成	県内の教育機関
㉑	道路改築事業（木場吉松えびの線）	事業概要パンフレット作成	県民
㉒	街路事業（新町線）	事業概要パンフレット作成	県民
㉓	ふるさと砂防サポート推進事業	啓発用ポスター及びチラシ作成	県内の行政機関
㉔	建設事業イメージアップ事業	鹿児島地区の土木フェスタ等	県民
㉕	砂防事業等啓発	砂防事業等啓発パンフレット作成	県内外の行政機関

広報事例（平成25年度）



[パンフレット]

県及び市町村の技術職員や建設業関係の技術職員の方々を対象に、県土木部の監修による「土木工事施工管理基準」や「砂防事業設計積算基準」等の建設技術等に関する土木関係図書の出版や、「各種事業の手引き」などマニュアルについては、県土木部所管課や出先機関の職員、民間技術者によるワークショップ形式での作成を事務局として支援しています。また、当センターで開発した「土工・土積計算システム」の販売や、市町村に対して公共工事の積算で使用する「鹿児島県土木積算システム」の歩掛データ等の提供を行っています。

図書販売等 <http://www.kago-kengi.or.jp/>



✓ 当センターHPのTOP画面  
「図書申し込み」をクリック



✓ 商品一覧の中より図書の購入  
申し込みができます。



✓ 「土工・土積計算システム」をポイントし  
「土工・土積計算システムについて」を  
クリック。

- 道路土工では新土木積算工種システム  
体系ツリーコードへ対応した Works  
数量を算出し、それに準拠した本工事費内訳書を出力
- 工区分割を任意区間で何回でもトライアルが可能
- マスカーブのプリンタ出力が可能

基準書作成

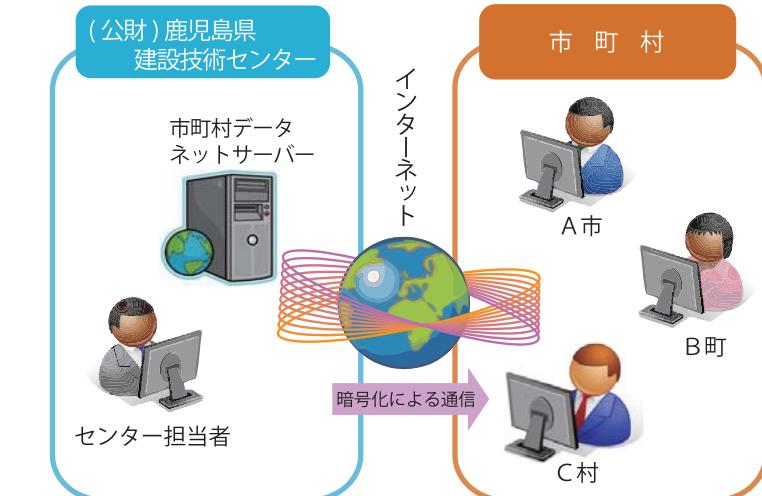
「河川事業設計基準書」の作成を事務局として支援しました。当基準書は県のHP

<http://www.pref.kagoshima.jp/>  
からダウンロードできます。



歩掛データ等提供

市町村へ歩掛データ等を配信する専用のシステムを構築し、最新の歩掛データ等を提供しています。



建設行政の効率的執行や、建設技術者の知識・技術力の向上を目的として、当センターの自主事業として土木資料室を整備し、センターで一元管理した県の建設行政に係る資料等を、建設行政に携わる関係者をはじめ広く県民に閲覧・貸出するものです。  
また、県内の地盤情報データについても閲覧可能となっております。

### 建設行政資料



建設行政資料については、当センターHP (<http://www.kago-kengi.or.jp/>) で「表紙」のイメージは全て閲覧できますが、「PDF」については、一部公開していないものがありますので、ご了承ください。

### 地盤情報データ（かごしま地盤情報閲覧システム）

県土木部から提供のあったボーリング調査に関する情報を、平成24年度から当センターのHP上で一般公開しています。



行政の支援要請を受けた地域づくりに寄与する活動や、安心・安全の増進や環境の保全等に寄与する新技術・新工法の研究など、建設行政の課題に対応した「研究活動」や「地域活動」を支援しております。

### 事業概要

#### ● 応募できる団体

県内にある大学等の教育機関(大学又は高等専門学校等)、NPO法人及びその他の営利を目的としない団体

#### ● 対象事業

- (1) 行政の支援要請を受けて、地域づくりに寄与する活動
- (2) 安心・安全の増進や環境保全等に寄与する新技術・新工法の研究
- (3) 将来へ残す質の高い社会資本整備に寄与する新技術・新工法の研究
- (4) 地方公共団体の建設行政の円滑かつ能率的な執行に寄与する研究及び活動
- (5) 県の支援要請を受けて、専門的な技術集団であるボランティア団体が行う災害調査等の活動
- (6) その他、理事長がセンターの設立趣旨に沿うと認める研究及び活動

#### ● 助成金額

当センターは、1件の研究又は活動について年間百万円以内で助成金を交付します。  
ただし、新技術・新工法の研究については、同一テーマに対し3箇年が助成の限度となります。

#### ● 平成25年度事業実績

	決 定 者	活動・研究テーマ
1	特定非営利活動法人 鹿児島砂防ボランティア協会	県民と行政のパートナーシップによる 地域づくり
2	鹿児島大学農学部 平 瑞樹 外(共同研究)	ヒートアイランド現象を緩和する軽量 被覆ブロック材の開発
3	第一工業大学工学部 羽野 晓 外(共同研究)	鹿児島県内に残存する大正・昭和初期 橋梁の意匠調査
4	鹿児島大学大学院理工学研究科 武若 耕司	構造物長寿命化修繕計画サポートシス テムの構築
5	第一工業大学工学部 位田 達哉 外(共同研究)	火山灰を用いた高性能調湿建材の開発
6	第一工業大学工学部 田中 龍児 外(共同研究)	急傾斜地の迅速かつ効率的な測量法の 開発
7	第一工業大学工学部 古田 智基 外(共同研究)	木造住宅制振標準化を目指したデバイ スの開発研究
8	鹿児島工業高等専門学校 福永 隆之 外(共同研究)	シラスを利用した混合セメントの開発
9	鹿児島大学大学院理工学研究科 山本 健太郎 外(共同研究)	鹿児島県の亜熱帯化に備える斜面災害を低減 するためのリスクマネジメント手法に関する 基礎的研究
10	鹿児島工業高等専門学校 前野 祐二 外(共同研究)	しらすを原料とした透水性簡易舗装 地盤の材料と施工法について
11	鹿児島大学大学院理工学研究科 鯨坂 徹 外(共同研究)	歴史的景観形成のための麓集落の現況 調査研究
12	鹿児島工業高等専門学校 山内 正仁 外(共同研究)	酸性雨及び火山噴火物に含まれる硫化物等 が及ぼすコンクリート構造物への影響調査

#### ● 助成実績（件数）

年 度	件 数
平成18年度	3件
平成19年度	2件
平成20年度	2件
平成21年度	5件
平成22年度	3件
平成23年度	6件
平成24年度	10件
平成25年度	12件
合 計	43件

#### ● 助成実績（団体）：抜粋

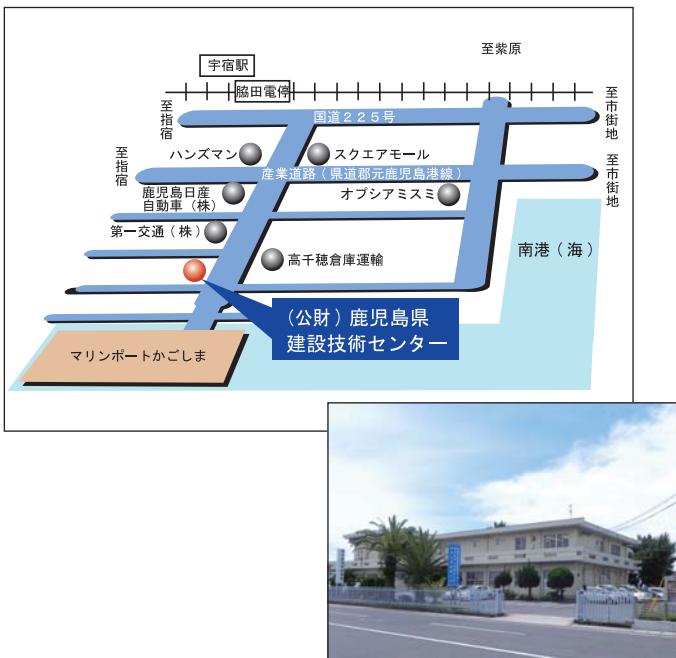
- ・鹿児島大学
- ・第一工業大学
- ・鹿児島工業高等専門学校
- ・NPO法人  
鹿児島県砂防ボランティア協会
- ・NPO法人  
かごしま河川ボランティア協会
- ・社団法人  
鹿児島県地質調査業協会



(公財) 鹿児島県建設技術センター

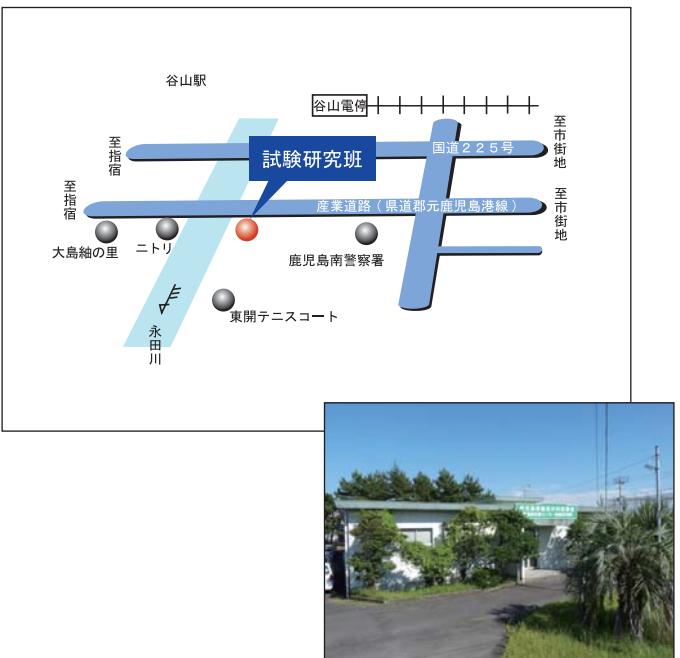


※ 写真撮影方向



## (公財) 鹿児島県建設技術センター

〒890-0073 鹿児島市宇宿二丁目9番3号  
(総務部)TEL: 099-252-5577  
FAX: 099-252-5388  
(建設技術部)TEL: 099-252-5957  
FAX: 099-252-5377



試驗研究班（建設工事材料試驗室）

〒890-0115 鹿児島市東開町1番  
TEL(FAX): 099-268-5708



## ホームページアドレス

<http://www.kago-kengi.or.jp/>

E-mail アドレス

info@kago-kengi.or.jp